



前橋四公の城下町を歩く

Vol. 1

総社藩主秋元越中守家

文化国際課
027・898・6992

江戸時代に現在の市内を治めた、前橋藩主の酒井雅楽頭家と松平大和守家、総社藩主の秋元越中守家、大胡藩主の牧野駿河守家。本市では、この四大名家を前橋四公と総称し、歴史イベントをとおり、市内に残る史跡や名所など、各家の魅力を発信しています。



天狗岩用水

このシリーズでは、城下町を歩いて発見できる近世前橋に四公が生きた痕跡と番外編を、全5回で紹介します。今回のテーマは、総社藩主・秋元越中守家です。

総社住民に愛される秋元公

初代・秋元長朝が、利根川右岸、越後への街道沿いの植野勝山に築城した総社城。現在の総社町である城下町を歩くと、400年以上

天狗岩用水

1602年、初代長朝は疲弊していた領地を豊かにするため、3年間免租の約束で領民を集め生活用水や農耕用水として天狗岩用水を開削。新田を開き肥沃な大地にし、領民の生活を豊かにしました。難工事から天狗来助の伝説が生まれています。

この天狗岩用水は世界かんがい

施設遺産の国内審査を通過し、日本代表の一つとして国際かんがい排水委員会へ申請されることに。審査結果は12月に発表予定で、今再び注目を集めているスポットです。

光厳寺

初代長朝が菩提寺として1607年に建立した光厳寺。境内には、秋元氏が総社を去った143年後に領民が長朝の徳を称え、一握りの米を出し合い建立した「力田遺愛碑」が佇んでいます。領民が領主の治績を称えた碑は全国的にも珍しく、年代を超えた領民と領主の温かい人間関係を感じられます。

光厳寺前の宝塔山古墳上の秋元氏歴代墓地には、初代から11代までの歴代藩主墓が集積。秋元家の歴史の重さを伝えていきます。



光厳寺



元景寺

元景寺

初代長朝が父・景朝の供養のために建立した元景寺。境内には、天狗岩用水開削を助けたという天狗が祭られています。また、墓地には景朝と正室の墓があるほか、豊臣秀吉の側室・淀君に関する伝承も残っています。

総社秋元氏歴史観光ガイド

前橋学市民学芸員が、光厳寺や力田遺愛碑、秋元氏歴代墓地、元景寺などを案内します。

日時=9月13日(日)10時~12時

対象=一般、先着20人

申し込み=8月11日(火)~25日(火)に文化国際課

027-898-6992へ

くらしの情報

お知らせ

希望者に保険証を簡易書留で

国民健康保険加入者の新しい被保険者証を9月中旬に世帯主宛てに郵送。希望者には簡易書留で郵送します。8月14日(金)までに国民健康保険課へ申し込んでください。

問 同課
027・898・6250

資格者が耐震診断や訪問相談

耐震診断調査資格者が木造住宅の耐震診断を実施。地震に弱い部分や倒壊する可能性の有無を調べます。耐震性が不足する場合、耐震改修工事などの説明や相談に乘ります。

対象=次の条件を全て満たす市内の木造住宅、先着10戸。①昭和56年5月31日以前に着工した一戸建ての住宅か併用住宅(住

□ 業務時間
本庁・支所・市民サービスセンター
8時30分~17時15分
窓 業務時間
8時30分~17時15分
窓 業務時間
8時30分~17時15分



宅部分の床面積が2分の1以上) ②平屋か2階建て ③在来軸組工法で建築
用意する物=印鑑、確認通知書などの図面
費用=1,000円
8月5日(水)~28日(金)に市役所建築指導課(027・898・6752)へ直接

固定資産の名義変更忘れずに

土地や家屋などの固定資産の所有者が亡くなったときは、名義変更の手続きが必要です。登記してある場合は、法務局に相続登記の申請をしてください。登記していない場合は、未登記家屋所有者変更申請書を市役所資産税課に提出してください。また、現所有者の申告が必要です。市役所資産税課か、大胡・宮城・粕川・富士見支所へ申告書を提出してください。

相続登記手続きには法定相続情報証明制度が利用できます。法務局に必要書類を提出するこ

とで、戸籍謄本一式の提出が省略できます。

問 資産税課

027・898・6216

登記については前橋地方法務局
027・221・4428

多文化共生目指す事業に補助

本市に暮らす外国籍住民との交流を図る事業に対して、事業費の一部を補助します。詳しくは問い合わせるか、市国際交流協会ホームページをご覧ください。

対象=市内に活動の本拠がある団体

問 同協会

027・243・7788

夏休みは自宅で科学体験

小学生向けのこども科学教室を、オンラインで実施。家で楽しめる科学実験などを、8月3日(月)から前橋工科大公式YouTubeチャンネルで紹介しています。

問 同大

027・265・7361

市長コラム

Mayor's Column

新型コロナウイルスによる不安は深刻です。幸い、前橋には恵まれた医療環境があります。市民の努力が前橋市内でのクラスターの発生を防いでいます。しかし、人と人が支え合う機会が減ってしまっており、市民同士の絆が断ち切られてしまわないか心配です。

こんな時だからこそ、子どもたちの学びを継続できる仕組みや災害発生時の安心な避難所づくりなど、未来へ向けた準備を進めていきます。今を生きる私たちは、次の世代に良き社会を残す準備に取り掛かりましょう。

「持続可能な暮らし」とは何か?このウイルスが問いかけている気がします。



山本 龍